

# 令和2年度学校教育計画

呉市立吉浦中学校長 河本 英希

継続

吉浦中学校区の教育目標（小中一貫教育）「かしこく やさしく たくましく」（自利 利他 貢献）

継続

経営理念（ミッション・ビジョン）

ミッション（学校の使命）：夢の実現に向けた志を抱き、自己を成長させていくとともに、自分を大切にし他を大切に、地域や社会に貢献できる生徒を育成する。

ビジョン（将来の学校像）：伝統を継承し、人々とふれあう中で地域と一体感を持ち、郷土愛を育むことができる学校

継続

目指す学校像

- ・生徒、保護者、教職員が誇りに思い、地域から愛される学校
- ・潤いと活気に満ちた学校

目指す生徒像

- ・自分を大切にする生徒
- ・他を大切にする生徒
- ・地域・社会に貢献できる生徒

目指す教職員像

- ・常に学び続ける姿勢をもつ教師。
- ・組織の一員として責任と自覚を持ち協働できる教師。
- ・誰からも信頼される教師。

吉浦中学校に（を）

- ・通って良かったと思う生徒
- ・誇りに思う地域住民

- ・通わせて良かったと思う保護者
- ・勤務して良かったと思える教職員

## 三つの重点施策

継続（一部新規）

### ①「知」 授業改善の推進…「優れた授業は最大の生徒指導である。」

学びの変革の 更なる推進	<u>教科等の本質に迫る「考える授業」づくりの実践（新規）</u> 授業のユニバーサルデザイン化による授業改善の推進→ H30 の継続
授業規律の徹底	「2分前着席の実施」「4秒礼を実施」「授業の開始に書く活動を実施」「返事のはいっを言わせる指導」「聴く姿勢の指導」→ H30 の継続
教室環境の整備	「整然とした机・椅子の位置」「カバンを置く位置」「ロッカーの整理整頓」「散らかっているゴミのない教室」「整然とした掲示物」→ H30 の継続

### ②「徳」 道徳教育の充実と積極的生徒指導の充実…道徳的实践力を高めるとともに生徒の良いところを褒め、自己存在感を高める。

肯定的評価	生徒の成長した点を見つけ言葉で伝えることで評価をしましょう。「感謝」を伝えるために、生徒をしっかり観察しましょう。小さな「感謝」を積み重ねることで生徒の自己存在感を高めましょう。
挨拶・返事 時間 掃除 身だしなみ	「社会に出たときのマナー」を指導しましょう。まず、われわれから率先垂範しましょう。
郷土愛の育成	各教科や総合的な学習の時間、道徳の時間等で郷土について理解を深めさせ、その良さに気付かせるとともに <u>地域に貢献できる生徒を育ててい</u> きましょう。

③「体」 基本的な生活習慣確立の指導…「自分に負けない。」→「自己指導能力を育てる。」

時間の三点固定	「起床時間」「就寝時間」「家庭学習を始める時間」を固定させ、規則正しい生活を送るように指導しましょう。食育も推進しましょう。
運動能力・体力の向上	一生懸命活動する楽しさを教えてください。技術だけではなく、マナーや集団行動も指導しましょう。体育系部活動では、体力も付けてください。

継続

基礎に据えたいものは『生徒指導の三機能』と『率先垂範』と「報・連・相・(確)」

自己決定の場	自分で決めて実行する場を設定しましょう。
自己存在感	価値のある存在ということを実感させましょう。
共感的人間関係	相互に尊重し合い、理解しあい、自分を語れるようにしましょう。
率先垂範	一人の大人として、生徒に背中を見せましょう（お手本になりましょう）。
報・連・相・(確)	組織を機能させるには「報告・連絡・相談・(確認)」が欠かせません。

継続

学力調査への対応…「結果を残し、教師も生徒も自信を持つ。」

A問題への対応	朝学習・特設放課後学習を学校組織で取り組みましょう。
30%未満生徒への対応	朝読書・特設放課後学習の時間を利用して基本的な問題をやらせましょう。
活用問題への対応	定期試験では必ず活用問題を出題しましょう。その際は起案してください。

より信頼される学校…不祥事は絶対に起こさない！→生起すると正常な教育活動ができない！

職員一体化した取組	職員が一体となって生徒に寄り添う指導をしていきましょう。
定期的な研修	当たり前のことを再確認していく場を設けましょう。
情報発信	学校の様子を各通信やHPで発信しましょう。

生徒へ指導し続けてほしいこと（われわれも意識し続けましょう！）

一生懸命	“一生懸命”であれば、必ず成長できる。“一生懸命”取り組んだ者でないと味わえないことがある。中学校3年間を充実させる。
感謝	感謝することで、さらに成長できる。
健康	活動するための土台。栄養・睡眠・適度な運動・規則正しい生活（時間の三点固定）。一人で抱え込まず誰かに相談。

新規

教職員の皆様へ…健康に留意し、明るく、働きやすい職場にする

働き方改革	削れることは削り、ゴールを決めて仕事をする事効率化を図り、自分の時間をつかっていきましょう。目標は時間外勤務が上限が月45時間、年360時間。
-------	---